

除草剤

クロルフタリム水和剤

農林水産省登録 第14638号

ダイヤメート®水和剤

有効成分：クロルフタリム…………… 50.0%

性 状：類白色水和性粉末45μm以下

毒 性：普通物

有効年限：4年

包 装：500g袋×20

特 長

ダイヤメート®は、日本農薬㈱の登録商標です。

- 広範囲の1年生雑草に卓効を示します。
- 残効性に優れた、抑草期間の長い土壌処理型除草剤です。
- 本剤は土壌中で比較的安定で、土壌中の移行が小さく、各種の土壌に適用できます。
- 本剤は人畜毒性、魚毒性がきわめて低く、環境などへの影響の少ない、安心して使用できる除草剤です。

適用雑草名および使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	クロルフタリムを含む農業の総使用回数
			薬量 (g)	希釈水量(ℓ)			
きく	畑地一年生雑草	定植前 (雑草発生前)	400~800	100	1回	全面土壌散布	1回
すき(床替床) ひのき(床替床) あかまつ(床替床) くろまつ(床替床) からまつ(床替床)		雑草発生前	400~600	150	2回以内		2回以内
つつじ類				100		畦間土壌散布	
たばこ (折衷マルチ栽培)		畦立直後 但し、植付10日前まで	200	100~200	1回		畦面土壌散布
日本芝 (こういしば)		前年秋季 施肥畦立時					
		春季雑草発生前	400~600	300	2回以内	全面土壌散布	2回以内
西洋芝 (バントグラス)	秋季雑草発生前	600					
	コケ類	秋冬期芝生育期 (コケ類生育期)	200~600	200~300		雑草茎葉 散布	

使用上の注意事項

- アルカリ性薬剤との混用はさけてください。
- 散布液調製後は、そのまま放置せずできるだけ速やかに散布してください。
- 本剤は雑草発生前の処理の効果は大きいですが、既発生の雑草には効果が劣るので雑草発生前に全面にむらなく散布してください。
- イネ科雑草に比べ、キク科などの広葉雑草に対しては効果がやや劣るので、広葉雑草の優占する所では所定範囲の多めの薬量で使用してください。
- 散布液量が少なく効果が不均一になる場合もあるので、所定の散布薬量に希釈して使用してください。
- 芝生中及び周辺の植物にかかると葉害を生ずるおそれがあるので、かからないように注意して散布してください。
- 芝に使用する場合、葉先褐変等の葉害を生ずることがありますが、やがて回復し、その後の生育に対する影響は認められていません。
但し、高温時に葉害が出やすくなるので注意してください。
- ターフ形成前の芝生には使用をさけてください。
- たばこに使用する場合、植付時、処理土壌がたばこの茎葉に接触しないように注意してください。
- たばこのトンネル栽培、改良畦面栽培では使用しないでください。
- 薬液調製容器や散布器具は使用后十分水洗いしてください。
- 水源池、飲料用水等に本剤が飛散流入しないように十分注意してください。

安全使用上の注意事項

- 散布の際は、マスク、手袋などをして散布液を吸い込んだり、浴びたりしないように注意し、作業後は顔、手足など皮膚の露出部を石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗してください。

技術情報

主な適用雑草一覧

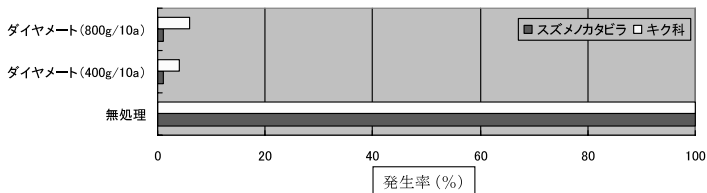
スズメノカタビラ、メヒシバ、オヒシバ、イヌビエ、カヤツリグサ科、ハキダメギク、イヌホオズキ、ハルタデ、サナエタデ、エノキグサ、アカザ、トウダイグサ、ナズナ、グンバイナズナ、オオバコ、スベリヒユ、イヌビユ、オオイヌノフグリ、ホトケノザ、その他一年生雑草

ダイヤモンド水和剤の作用性

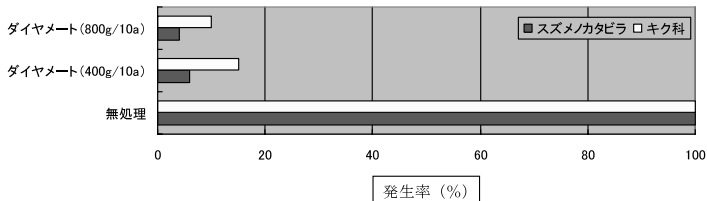
- 光要求型除草剤で、光のある条件下のみで効果が発現します。
- 接触型除草剤なので、土壤表層に形成された薬剤処理層を雑草の幼芽部が通過する際、薬剤に接触し褐変枯死します。
- 土壤中の移動性がきわめて小さく、土壤表層に薬剤処理層を作りやすい。
- 根部からの吸収は小さく、植物体はほとんど影響を受けません。

適用性試験

処理 60 日後の調査結果



処理 150 日後の調査結果



試験場所：西日本グリーン研究所
対象雑草：スズメノカタビラ、(キク科：オオアレチノギク、ヒメムカシヨモギ、チチコグサ、オニノゲシ)
供試芝草：コウライシバ (密張造成後、ゴルフ場のグリーンと同様の管理状態) 造成 2 年後の芝。
土壌条件：砂壤土で腐植をやや含む。pH 4.7。
処理日：昭和 50 年 10 月 22 日 (雑草発生前)
調査日：昭和 50 年 12 月 22 日 (60 日後)
昭和 51 年 3 月 20 日 (150 日後)